

めざします！安全・安心・活気あふれる住みよい街、刈谷



刈谷市議会議員  
なか じま

中嶋よしゆき



後援会だより Vol. 23 発行日：平成28年7月吉日

□常任委員会：企画総務委員会 委員長 □議会運営委員会委員

□会派：市民クラブ会長 発行所：中嶋よしゆき後援会 TEL(0566)24-8831 FAX(0566)24-1675

ごあいさつ

日頃より、後援会活動にご理解ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。まず、4月に発生した熊本地震で被害にあわれた方々に、お悔やみとお見舞いを申し上げます。この6月議会の一般質問では、防災関連の質問をされる議員が多かったです。私もその一人ですが、東日本大震災では、大津波被害で「未曾有」「想定外」という言葉が使われました。熊本地震では、震度7が2回発生し、想定外と言われました。東海地震、3連動地震が予測されるこの地域で、想定外とならないように準備が必要です。耐震化の更なる推進、個人の防災意識の向上、避難所、備蓄等の地域コミュニティを充実していく事の重要性を訴えて、施策へ結びつけてもらえるよう進言しました。



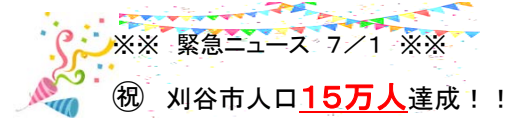
避難訓練



18歳選挙権、イギリスのEU離脱、株価為替の乱高下など世界情勢を取り巻く状況は不安定であります。持続的に成長し続ける刈谷市であるためには、行政・企業・市民それぞれがアンテナを高く張る事が重要だと感じています。経済の安定成長、高齢化対策、防犯・防災、交通安全、子育てへの安心感など、市民の安全安心のための施策に重点をおいて活動してまいりますので、今後とも多大なるご支援の程よろしく願いいたします。



平成28年度6月定例会(会期6/9～6/27)



【議案総括】

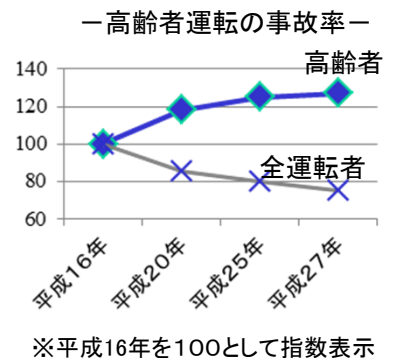
	報告案件	単行議案	条例議案	予算議案
件数	5件	14件	6件	1件
主な内容	・一般会計継続費繰越し(小学校大規模改造、特別支援学校建設など)	・人権擁護委員の推薦 ・工事請負契約の締結(富士松北保育園工事など11件) ※裏面参照	・刈谷市税条例等の一部改正 ・刈谷市国民健康保険条例の一部改正など	・補正予算(国庫補助補正、被災地支援など) ▲5.4億円

【高齢者安全運転支援事業(新規)】

- ◇目的：高齢者の自動車運転事故の防止と事故時の被害軽減
- ◇時期：平成28年7月1日～平成30年3月末
- ◇事業費：33,000千円(平成28年度補正予算)



機能	衝突被害軽減ブレーキ	ペダルふみ間違い加速抑制	車線維持支援制御	補助額
有無	○	—	—	2万円
	○	○	—	3万円
	○	—	○	3万円
	○	○	○	4万円



# 平成28年度6月定例会



## 【工事請負契約の締結内容】

工事名	金額(億円)
富士松北保育園改築	3.4
双葉幼稚園園舎大規模改造	1.7
小垣江小学校北校舎大規模改造	1.7
刈谷東中学校中舎・南舎改築	11.6
依佐美中学校中舎大規模改造	1.7

工事名	金額(億円)
市立特別支援学校建設等・・・①	12.9
第一学校給食センター建設・・・②	20.8

- ①小垣江東小の北舎増築・改修、南舎の老朽化対策含む。国県補助金6.2億円、地方債1億円、基金5.3億円を拠出
- ②一般給食、特別支援学校用特別食、アレルギー食など運用のミスが発生しないように、分離調理を実施

## 一般質問で市政を問う



### 【1】熊本地震を受けた刈谷市の備えについて

Q1. 熊本地震は震度7が二回発生。行政は何を感じたか？  
今後の防災対策への具体例を挙げてほしい。

A. 地震のメカニズムや地域性の違いにより、事前対策が異なる事を再認識。例として、人手不足による救援物資が配給できない。群発地震のため、避難所ではなく自動車やテント避難者が多い。実態の情報を収集し、本市の総合的対策を再確認する



Q3. 自主防災に重要な役割を担う消防団員の確保は？

A. 「消防団応援の店」制度、学生消防団員の就職活動の一助となるよう「学生等消防団活動認証制度」など、福利厚生を充実する

◎消防団の活躍を周知する必要がある。地域と市の協力による啓発活動の推進を要望する



Q2. 市民の防災意識向上の機会であり、防災情報を地域で共有する事が重要。市民へアプローチする方策は何か？

A. 地域防災力向上には、自主防災会活動の活性化が必要。今年度から「自主防災推進会議」を開催する。各地区との情報交換や事例紹介など支援の場としていきたい。

Q4. 今回は浅い地層での断層地震。刈谷市内、近隣の断層再調査、または市独自の調査実施を考えているか？

A. 市内に活断層は見つかっていない。近隣では猿投一高活断層帯が見つかっているが、文科省の調査報告では30年以内の地震発生率はほぼゼロ。活断層調査は国土地理院が行っているため、市独自の調査は考えていない

### 【2】市内道路交通ネットワークの安全性と利便性向上について

Q1. 国道1号線今川付近の渋滞解消に向けた取組み状況は？

A. 国道事務所が中心となり「刈谷知立ワーキンググループ」を設立し協議中。交通量の分散のための対策を検討

Q2. 知立東浦線の昭和町付近の渋滞解消の取組み状況は？

A. 周辺交差点の交通量調査と、交通シミュレーションを実施。道路交差点改良の方策を検討していく

Q3. 国道23号線の4車線延伸に伴う交通量の変化は？

A. 7時～19時までの交通量が2割増加

◎交通量の増加と共に自然／事故渋滞が頻繁に発生している。インター付近に国道23号線の渋滞情報や事故情報などの表示機器を設置し、利用者へ提供して欲しい

Q4. 国道23号線側道は国管理のため、安全対策など改善に時間を要する。市道化する考えはないか？

A. 平成18年に管理事務所より市へ移管の要請あり。関係4市(刈谷、安城、知立、豊明)で協議中。市道化は道路改修等の時間短縮が可能だが、維持管理費が膨大。今後も引き続き調整をしていく

人身事故件数(23号線豊明～西尾東)		
H23年	105件	月間最多 17件 (H26/3)
H26年	143件	



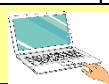
## 依佐美地区の工業用地整備について

(目的) 耐震対策、工場拡張などを目的とした市内企業の市外移転抑止のため、まとまった工業用地を造成する。結果、雇用の確保・税収増に期待、より良い市民サービス向上に繋がる。また、市の掲げる2040年人口ビジョン16万人を目指すために重要

(理由) 国道419号、国道23号など道路網が整備され利便性が高い  
※第一期面積・・・16ha  
※目標時期・・・平成32年造成  
(課題) 営農環境保全、交通安全など



◇中嶋よしゆき公式HP



<http://www.giin-aiwu.com/nakajima/>

中嶋 よしゆき後援会 〒448-0021 刈谷市八軒町2-75番地1  
TEL(0566)24-8831 FAX(0566)24-1675  
E-Mail : nakaji@msp.aisin.co.jp



私が気づかないところも多くあります。皆様からの意見をお待ちしております。日々の活動報告は、ホームページをご覧ください。